

2020 年度教育研究活動報告用紙（様式 9）

氏名	藤田 稔子	職名	准教授	学位	修士（看護学）（神戸市看護大学 2005 年）
----	-------	----	-----	----	-------------------------

研究分野	研究内容のキーワード
小児看護	感染症（感染症対策、予防接種） 小児ぜんそく 医療保育

研究課題
<p>【現在取り組んでいる研究課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療保育専門士と小児病棟看護師との協働の在り方について→特に、子どもの理解が乏しい新人看護師に対して、保育の専門性を有効的に活用した取り組みについての実施と考察。 <p>【継続していきたい研究課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染症対策に関して、乳幼児の身近なものへの一般細菌の付着状況を実験的に調査し、その結果、安全かつ簡易的に実施可能な消毒方法を考察する。 ・慢性疾患、特に気管支喘息を持った幼児が、どのように疾患と向き合い、自己管理をしていくのか、また、スムーズな子ども自身が可能な自己管理方法について考察する。 ・子ども達が身体や健康に関心を持つきっかけとなる「絵本」に着目し、発達段階にみた「内容」「（身体や症状を表す）ことば」について調査する。

担当授業科目
こども学基礎演習（保育科 1 年 前期・後期） こども学特別演習（保育科 2 年 前期・後期） 初年次セミナー（保育科 1 年 前期） 保育内容「健康」（保育科 1 年 前期） こどもの健康と安全（保育科 2 年 前期） こどもの保健（保育科 1 年 後期） こども音楽療育実習（保育科 2 年 後期） 在宅保育（保育科 2 年 後期）

授業を行う上で工夫した事項（※ 助手については、実習・演習等の指導を行う上で工夫した事項）
<p>授業科目名【こども学特別演習】</p> <p>例年、井堀市民センターに出向き、実際に未就園児とその保護者と関わり合いながら活動を展開していたが、今年度は、新型コロナウイルス感染の拡大によって活動ができず、1 回しか開催できなかった。しかし、学生達の発案と行動力で、YouTube チャンネルを開設し、定期的に動画配信をすることができた。この動画作成に際して、著作権のこと、自分たちのプライバシーの保護、対象者へ画面を通して伝えるむずかしさ等、様々な学びの機会となった。担当教員としては、学生達が活動しやすいように環境を整えることに努めた。</p>
<p>授業科目名【初年次セミナー】</p> <p>入学してから一度もキャンパスに来たことがないため、キャンパス内の動画を解説付きで撮影したり、図書館と協力して、図書館内の案内や使用方法等の説明を Live で配信したり等、対面授業になったときに困らないように、そして、本学の学生であることを少しでも実感できるように実際の映像を見てもらうことでリアルに伝える工夫をした。また、仲間づくりのきっかけになるように、グループワークを多く活用した。グループワークの内容も難しいものではなく、例えば、名画を見ながらそれにあつたセリフを考える、等のグループメンバー内で気楽にお喋りしながらできるような面白い題材を提供するようにした。</p>

授業科目名【こどもの健康と安全】

本科目はすべて実技演習であるため、どうしても自宅でできない内容は集中講義として来校して受講してもらった。その際、できる限り感染症対策を施したうえで、時間の許す限り内容を濃縮して実施した。私1人では不可能であるため、教育支援職員の協力で予定した実技演習が全てできたことは感謝に堪えない。しかし、7割の内容が遠隔授業で行うこととなった。物品や設備等環境的に156乳児保育室からの配信ができることがベストであったが、Wi-Fi環境が整っていないため、自宅から配信せざるを得なかった。しかし、できる限り手技が見えるように撮影の機材等整え、デモンストレーションのやり方も学生の意見を聞きながら実施した。事前に動画を作成して配信することを最初に提案したが、学生からはLive配信の希望が強くあった。その時その時に例えば、「角度を変えて見たい」「もう一度この部分だけ見たい」などの要望が可能となるからだ、と言われた。実際に、デモンストレーション中の質問や要望、発言は多く、Live配信にしてよかったと思っている。(在宅保育は後期科目であったため、この科目のやり方が活用でき、学生からは好評であった)

授業科目名【こども音楽療育実習】

本科目は、例年、特別支援学校や保育園、地域の施設に出向いて音楽活動をしていたが、本年はできなかった。そのため、zoomで学生達と園と繋いで音楽会をすることとした。事前にリモート演奏の動画を作成し、当日はzoomで実施した。学生達の振り返りを見ると、担当教員が求めていた以上の学びを得ており、初めての手探りの試みであったが、やってよかったと感じた。

学 会 に お け る 活 動

所属学会等の名称	役職名等 (任期)	加入時期
日本小児保健学会		2000年4月～現在に至る
日本小児看護学会		2005年4月～現在に至る
日本保育所保健協会		2009年4月～現在に至る
日本医療保育学会		2010年4月～現在に至る
日本環境感染学会		2010年4月～現在に至る

2020年度 研 究 業 績 等 に 関 す る 事 項

著書、学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概 要
(著書) なし				
(学術論文) なし				
(翻訳) なし				
(学会発表) なし				教育研究業績 総数 著書 4 (単0 共4) 学術論文 3 (単1 共2) 学会発表 12 (単2 共10) その他 8 (単0 共8)

外部資金 (科学研究費補助金等) 導入状況 (本学共同研究費を含む)

(1) 共 同 研 究

研 究 題 目	交付団体	研 究 者 ○代表者 () 内は学外者	交付決定額 (単位:円)

外部資金（科学研究費補助金等）導入状況（本学共同研究費を含む）

(2) 個人研究

研究題目	交付団体	交付決定額 (単位：円)	備考

社会における活動等

団体・委員会等の名称 (内容)	役職名等	任期 期間等
北九州市開発審査会 北九州市私立保育園連盟 社会法人 真祐会	委員 外部理事 評議員	2013年11月～現在に至る 2018年～現在に至る 2019年～現在に至る

学内における活動等（役職、委員、学生支援など）

- ・委員会
 - 倫理委員会 副委員長 2010年度～現在に至る
 - 就職委員会 副委員長 2016年度～現在に至る
 - FD委員 2019年度～現在に至る
- ・S.D.C 顧問
- ・アドバイザー関連
 - 保育科1年ゼミ アドバイザー
 - 保育科2年ゼミ アドバイザー
- ・地域貢献
 - いぼりの森の「みんな！だあ～いすき！」みんな♪フレアイ隊
 - zoomで繋ぐ、楽しい音楽あそび
- ・執筆
 - 附属シオン山幼稚園「しおんのそののあゆみ」2020年9月号 巻頭言
 - キリスト教センターだより 2020年送別号 聖書の花束「心の中心にあるもの」
- ・卒業生支援
 - 医療保育専門士への支援